

# 雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

## 「主体的・対話的で深い学び」を通して



### 教師の授業力向上のための研修

10月25日(木) 英語科指導員訪問

講師:青山 賢治先生(竜海中学校)



2年1組



1年3組



3年1組



英語科研究協議会

10月25日(木)、2時間目に2年1組、3時間目に1年3組、5時間目に3年1組で、英語科授業研究が行われました。講師に岡崎市英語科指導員の青山賢治先生(竜海中学校)を迎え、これからの英語の授業についてのあり方を学びました。

#### 英語科指導員の青山賢治先生からのご指導

- ・どの学年も生徒が、さわやかで元気に挨拶ができます。授業の始めと終わりの挨拶が良かったです。そして、意欲的に英語の授業に取り組んでいる点は、素晴らしいです。
- ・中学校は、2021年度に新学習指導要領の完全実施となります。それを踏まえて、今後、気を付けていきたいことを話します。**オールイングリッシュの授業をめざすことが大切です。**教師の説明を減らし、生徒の活動を増やす。生徒の意欲を喚起するような授業の工夫をする。英語学習の初期に限り、英語で指示した後、日本語で再度指示を出すなどは必要となる。
- ・授業を受けたいと思わせるための要素は、次の3つが考えられる。
  - ①国際志向性を高められるような内容を授業に盛り込むこと
    - 日本以外の社会に目を向けられること**
  - ②生徒が英語を学ぶ意欲を高めるための手立て
    - 生徒が知りたいと思うような授業の展開**
  - ③生徒が英語でコミュニケーションにおける有用性を感じられる機会を設けること
    - 年間を通じて同じ表現に出会い、使用する場面を授業中に設定すること**
- ・英語嫌いを作らないためにゲーム的活動を増やしていくのではなく、**英語が伝わる楽しさを味わうことができる授業の内容**を考えていく必要がある。
- ・大学入試が変わる。英語のテストのウエイトは、現在、「読む・書く」85%、「聞く」15%  
**新入試では、「読む」25%、「書く」25%、「聞く」25%、「話す」25%**  
2019年度の全国学力テストでは、現在、国語・数学・理科(3年に一度)  
**新体制では、国語・数学・理科(3年に一度)、英語(3年に一度)**
- ・新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を通して、3つの資質・能力を育成する。「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」  
特に、**外国語を使って何ができるようになるかを明確にすることが大切である。**

## 自分の力を知り、次の目標を見つけた西三河駅伝競走大会 10月27日(土)



10月26日(金)給食後、西三河駅伝大会激励会

10月27日(土)、豊田市運動公園での西三河駅伝競走大会に男女とも出場しました。今まで練習してきた成果を出し切ろうと頑張りました。各中学校で選抜された男子6人、女子5人なので、本当にレベルの高い大会となりました。今の自分の力を知り、次の大会への課題を見つけたと思います。駅伝部の練習を通して、「心・技・体」を鍛え、チーム力を高め、絆を深める練習につなげてほしいと考えています。選手に対して、本気で声援する額中生、先生の姿に感動しました。

## 第49回愛知県中学生弓道大会 10月28日(日) 於 蒲郡市民体育センター第1弓道場

団体戦:額田中学校 弓道部男子 8位(12的中)・技能優秀校(19チーム参加)

☆2019年度7月の全日本少年少女武道錬成大会出場への推薦状獲得



額田中学校弓道部2年生8名(男子6名と女子2名)のチーム力で、技能優秀校に推薦され全国大会出場権を権獲得する

第49回愛知県中学生弓道大会 男子19チーム参加  
額田中男子弓道部 1立目2本+2立目4本=6本的中  
※19チーム中6本的中の11位タイのチームが決勝進出  
**額中男子 1立目2本+2立目4本+3立目6本=12本的中**  
男子団体戦 優勝:幸田北部中 (25本的中)  
2位:一宮中 (21本的中)  
3位:幸田中 (17本的中)  
4位:南稜中 (16本的中)  
5位:大府中 (15本的中)  
6位:藤岡南中 (14本的中)  
7位:東海中 (14本的中)  
**8位:額田中 (12本的中)**  
8位:朝日中 (12本的中)

第49回愛知県中学生弓道大会 女子23チーム参加  
女子団体戦  
優勝:朝日丘中 (15本的中)  
2位:上郷中 (14本的中)  
3位:三好中 (14本的中)  
4位:刈谷南中 (13本的中)  
5位:末野原中 (13本的中)  
6位:幸田中 (12本的中)  
7位:豊川東部 (12本的中)

団体戦の3位までと技能優秀校  
2019年7月の日本武道館での全国大会出場権獲得  
男子:幸田北部中、一宮中、幸田中、**額田中**  
女子:朝日丘中、上郷中、三好中、末野原中

第49回愛知県中学生弓道大会が、10月28日(日)、蒲郡市民体育センター弓道場で行われました。各地区大会で県大会通過の中数を突破した学校に県大会出場権が与えられ、男子19チーム、女子23チームが参加しました。額田中男子弓道部は県大会出場権利を得ていましたが、女子は残念ながら出場権がありませんでした。額田中弓道部2年生8名(男子6名、女子2名)で県大会に臨みました。男女とも1立目、2立目の合計的中数で12位タイまでが、決勝進出の条件でした。額田中弓道部男子は、1立目と2立目の計6本の11位タイで決勝進出し、3立目に6本の中させ、合計12本となりました。7位までが第13回東海地区中学生弓道選手権大会への出場権を与えられます。残念ながら額田中は、12本で8位タイ、7位は14本なので2本差で東海大会の出場権を失いました。閉会式は、1立目、2立目の不甲斐なさを思い出し、悔しさでいっぱいでした。

ところが、閉会式の審判長高評の中で、「**技能優秀校に全国大会出場の推薦状を与えます。男子は額田中学校、女子は末野原中学校**」と発表がありました。突然の発表で、耳を疑い、中野先生、松下先生、森原先生、弓道部2年8名全員が、互いに顔を見合わせ、啞然としていました。「やった。信じられない」と笑顔に変わりました。

技能優秀校の選考は、射形の美しさとの的中数で評価するそうです。3立目の的中数は、10本、7本、7本、6本と額田中は4番目の成績でした。射形の美しさで「最後の詰め」を意識しあきらめずに努力したことが、技能優秀校受賞につながったと思います。奇跡が起きた瞬間でした。一生忘れることができない一日となりました。

額田中弓道部男子は、2019年7月に東京都日本武道館での全国大会に出場できます。もっとも「心・技・体」を鍛えて、愛知県代表にふさわしい弓道人になる努力を続けてほしいと思います。